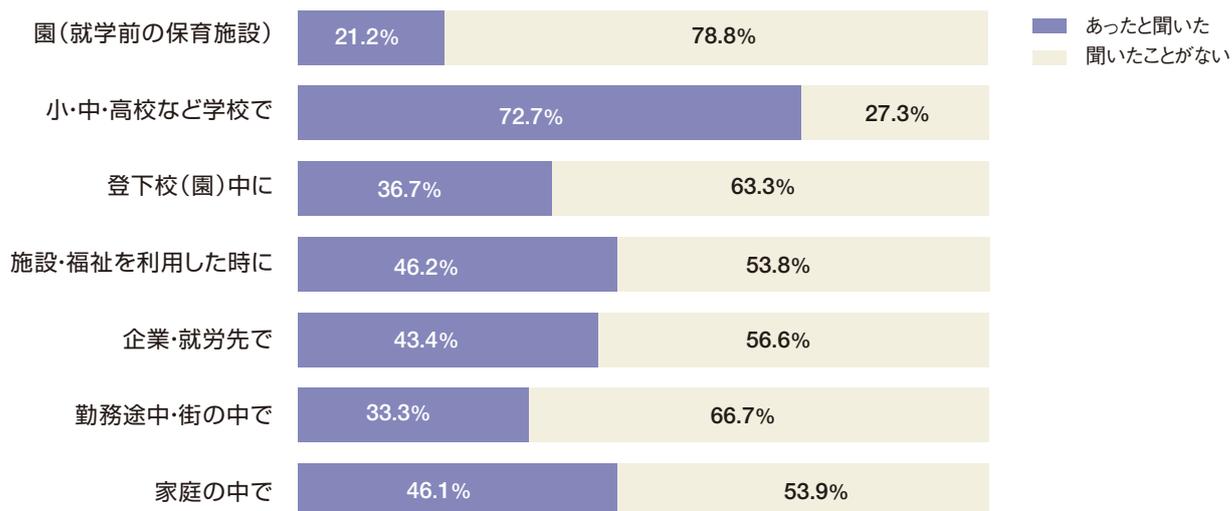


# 間接経験による虐待・不適切対応の実態

聞いたことがある話について

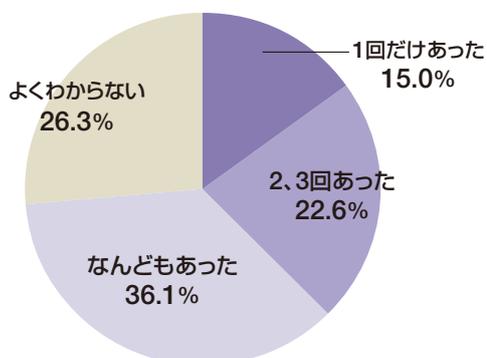
## Q1 あなたが「虐待等をされたことを聞いたことがある」話は、以下のどれですか？



「小・中・高など学校で」が72.7%と最も高く、次いで「施設・福祉を利用の時に」(46.2%)「家庭の中で」(46.1%)「企業・就労先で」(43.4%)と続く。実際にあった方との比率を比較すると概ね3~4倍程度となっている。

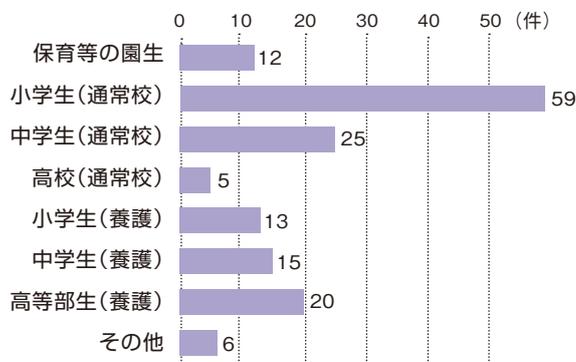
### 就学前、学校(小・中・高)、登下校中

## Q1 それは1回だけですか？ 何度もありましたか？



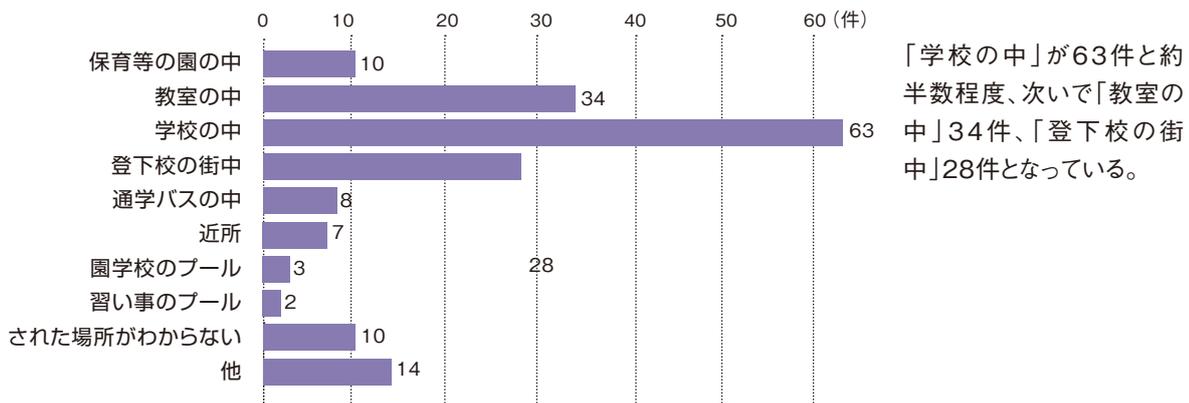
「何どもあった」36.1%、「2、3回あった」22.6%と、半数以上が複数回の虐待を経験している。

## Q2 いつ頃のことですか？

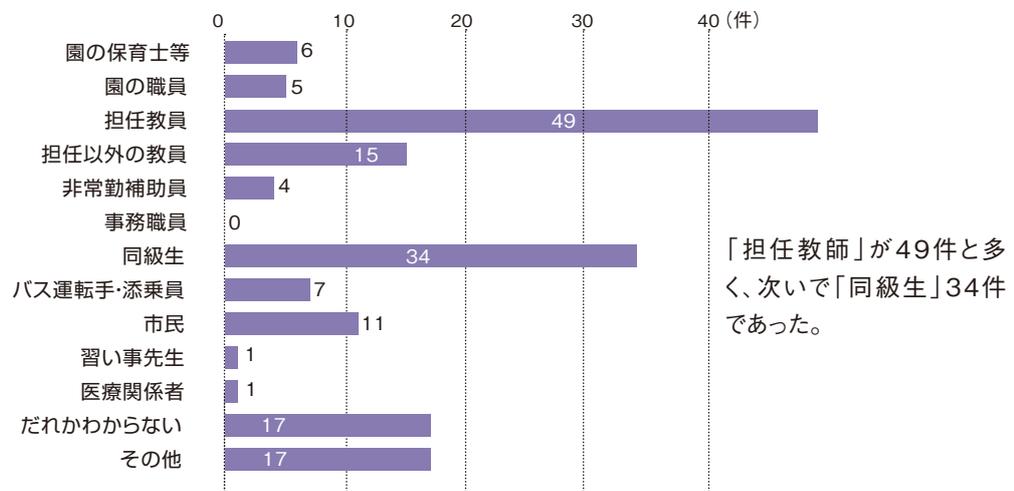


「小学生(通常校)」が最も多い。次いで「中学生(通常校)」が小学生の約半数となっている。

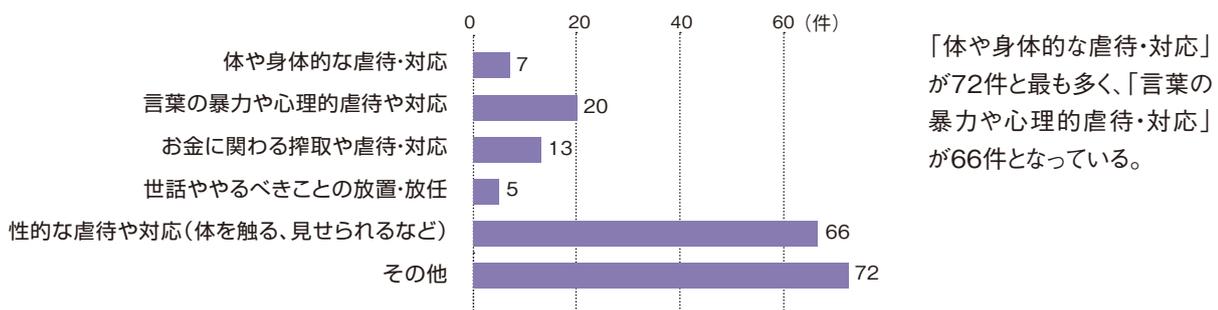
### Q3 場所はどこですか？



### Q4 誰にされましたか？



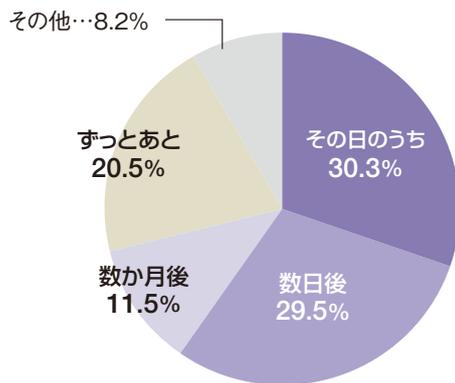
### Q5 どんなことをされましたか？



# 間接経験による虐待・不適切対応の実態

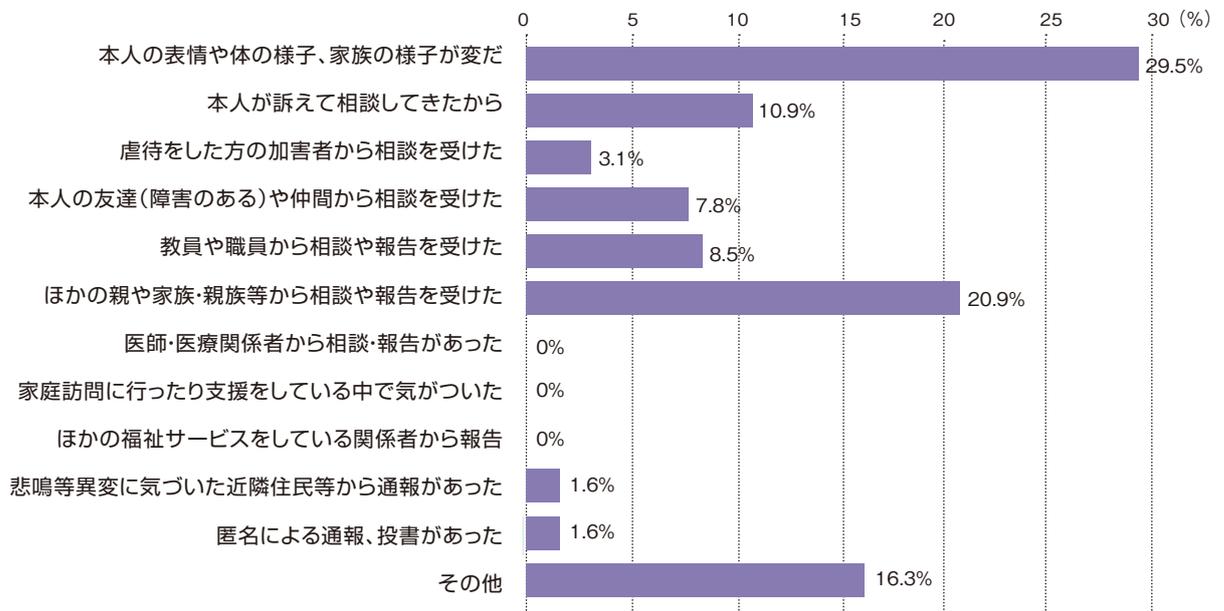
聞いたことがある話について

## Q6 いつ頃気がつきましたか？



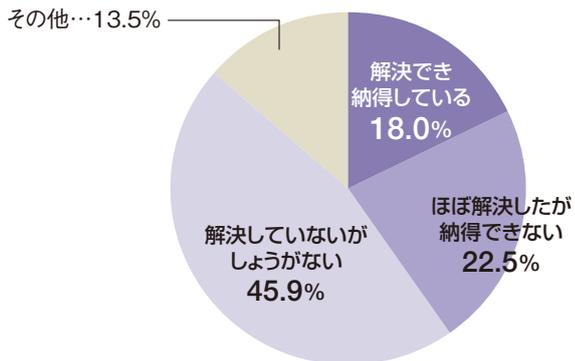
「その日のうち」に気付いたのが30.3%、「数日後」(29.5%)を合わせると約6割は早い段階で気付いていることが分かる。ただし、「実際に経験した」場合より遅れる傾向があり、「数日後」「ずっとあと」の割合が高くなっている。

## Q7 それに気がついたのは、なにがきっかけでしたか？



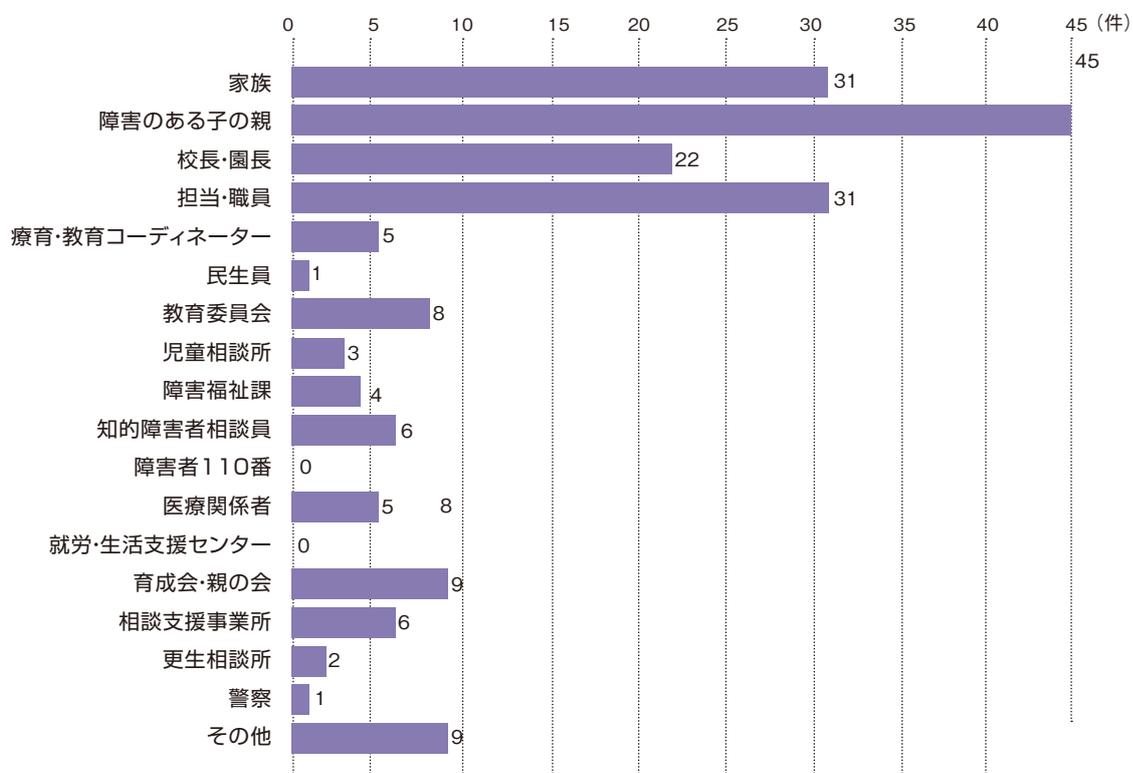
「本人の表情や体の様子、家族の様子が変だ」29.5%と、気付かれたケースが多い。「ほかの親や家族・親族等から相談や報告を受けた」は20.9%となっている。

## Q8 その虐待や不適切な対応は解決しましたか？ それに対して納得していますか？



「解決していないがしょうがない」が45.9%と未解決のままである。「ほぼ解決したが納得できない」22.5%と、解決していない方とあわせて約7割の方が不満を残したままとなっている。

## Q9 誰が相談にのり、頼りになりましたか？

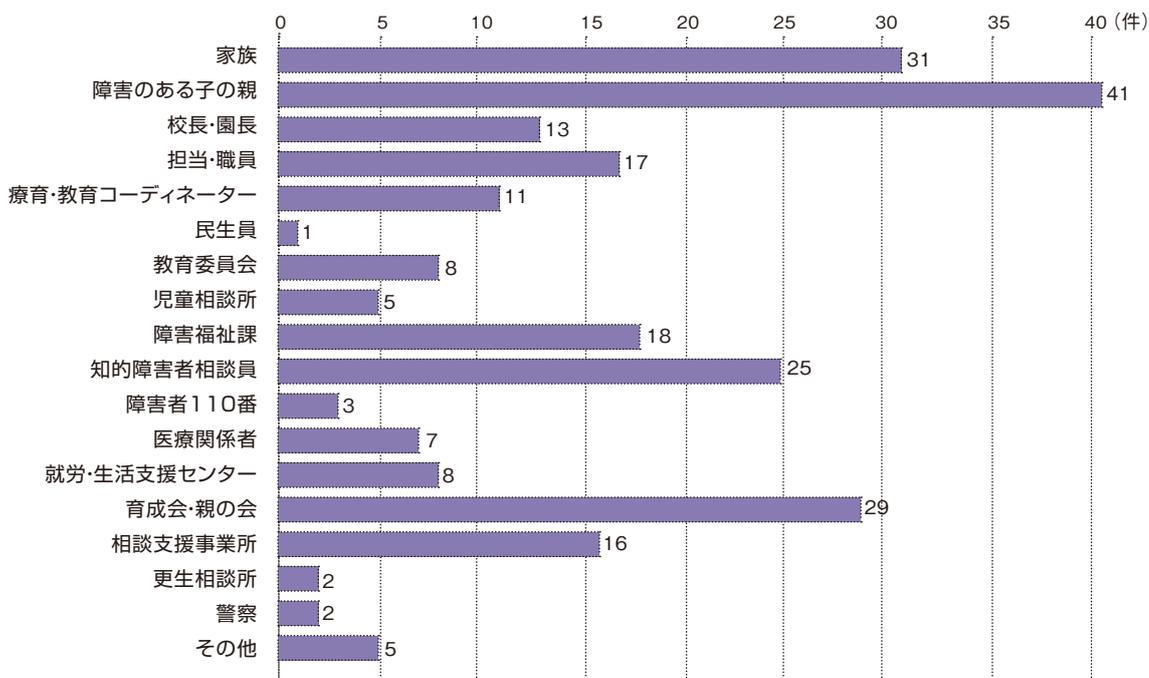


「障害のある子の親」45件が最も多く、「家族」「担任・教員」が31件となった。

# 間接経験による虐待・不適切対応の実態

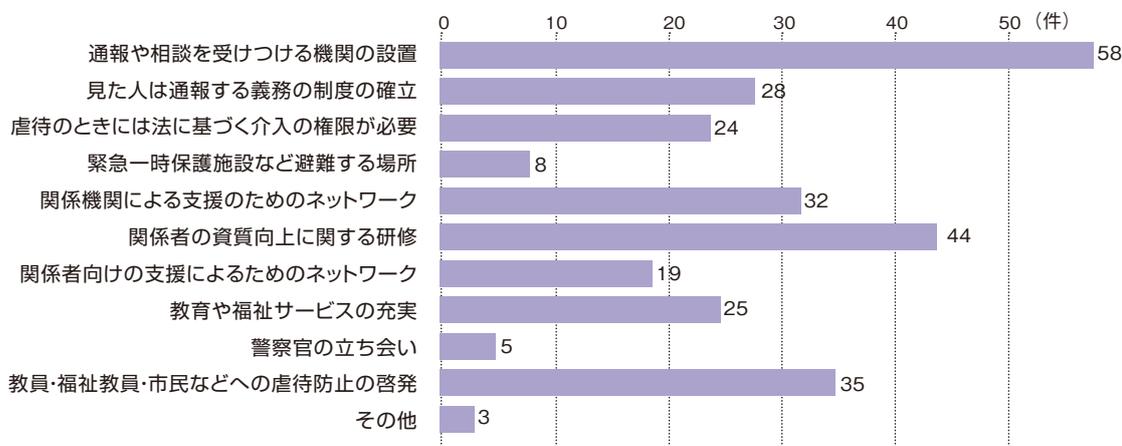
聞いたことがある話について

## Q10 今後、相談したい、頼りにしたいと思うのは誰ですか？



「障害のある子の親」41件、「家族」31件「育成会・親の会」29件となっており、育成会・親の会に対する期待度は非常に高いと言える。

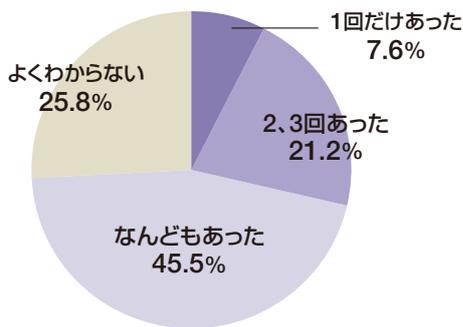
## Q11 今後、どのような体制・制度が必要だと思えますか？



「通報や相談を受け付ける期間の設置」が58件と最も多く、「関係者の資質向上に関する研修」44件、「教員・福祉教員・市民などへの虐待防止の啓発」35件と、未然に防ぐ、ないしは発生時に適切に処理するための予防線に対する期待が高い。

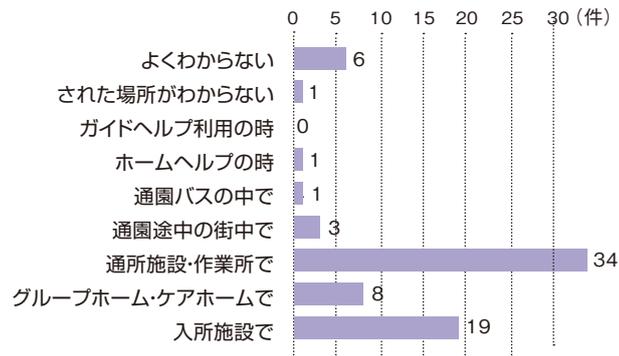
施設や福祉サービスの利用の時・通園途中

Q1 それは1回だけですか？  
何度もありましたか？



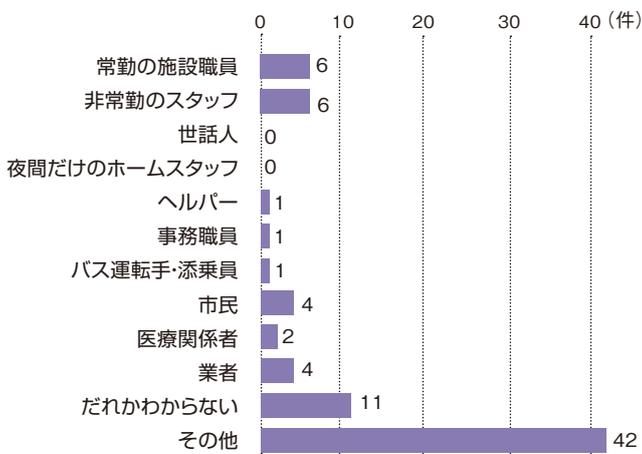
「何度もあった」45.5%、「2,3回あった」21.2%と、6割以上が複数回の虐待を経験している。

Q2 場所はどこですか？



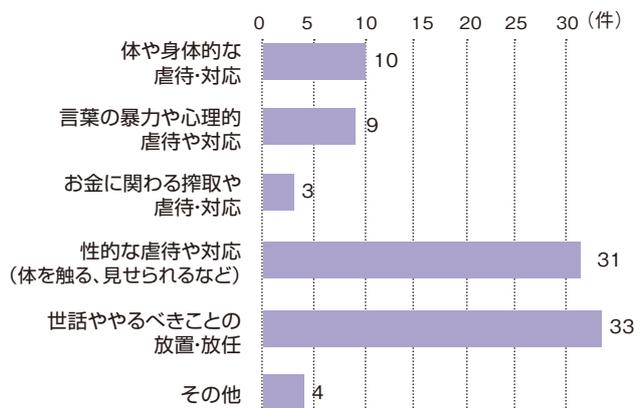
「通所施設・作業所で」が34件と最も多く、「入所施設で」19件と続く。

Q3 誰にされましたか？



「常勤の施設職員」が42件がほとんどであった。

Q4 どんなことをされましたか？

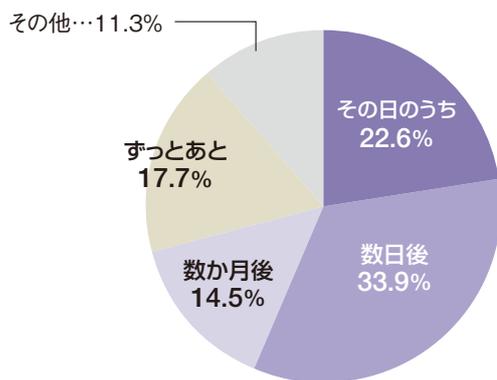


「言葉の暴力や心理的虐待・対応」が33件と最も多く、「お金に関わる搾取や虐待・対応」も31件となっている。

# 間接経験による虐待・不適切対応の実態

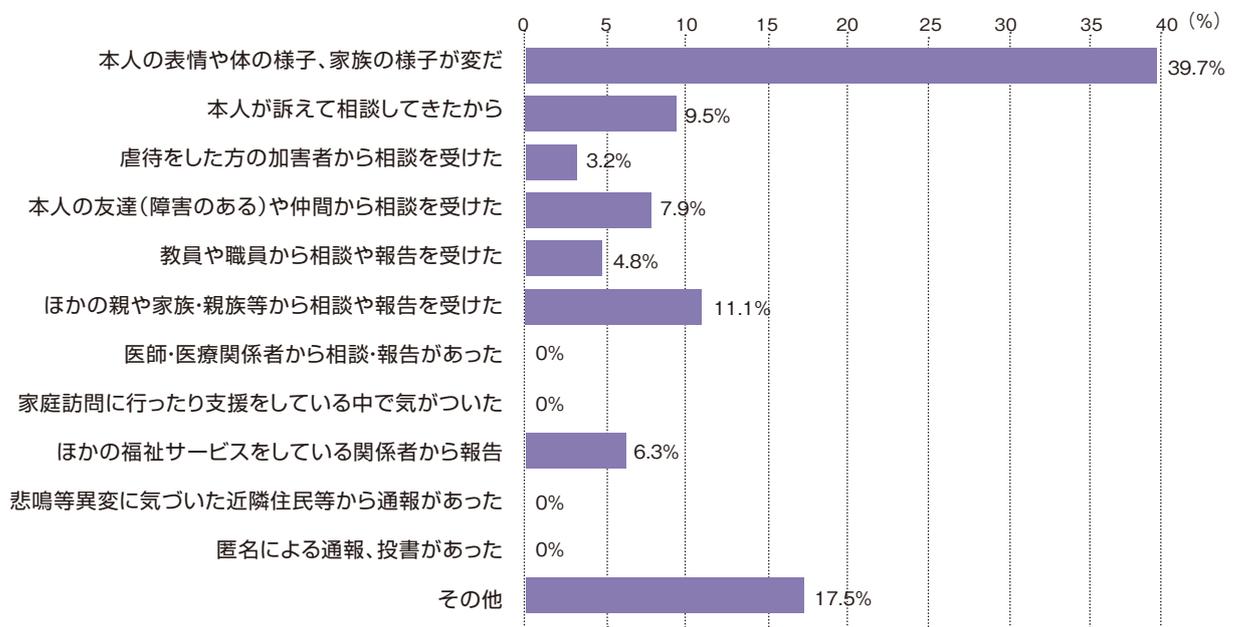
聞いたことがある話について

## Q5 いつ頃気がつきましたか？



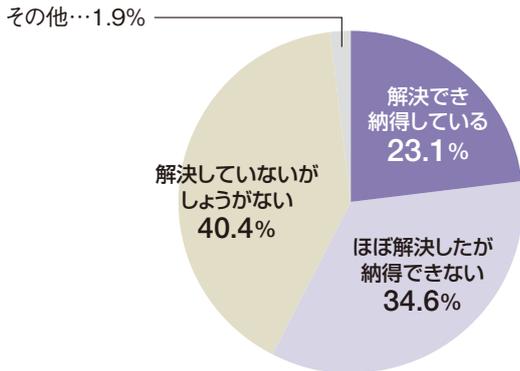
「数日後」33.9%となっており、その日のうちを合わせると約6割弱は早い段階で気付いていることが分かる。「数ヶ月後」「ずっとあと」も少なくない。

## Q6 それに気がついたのは、なにがきっかけでしたか。



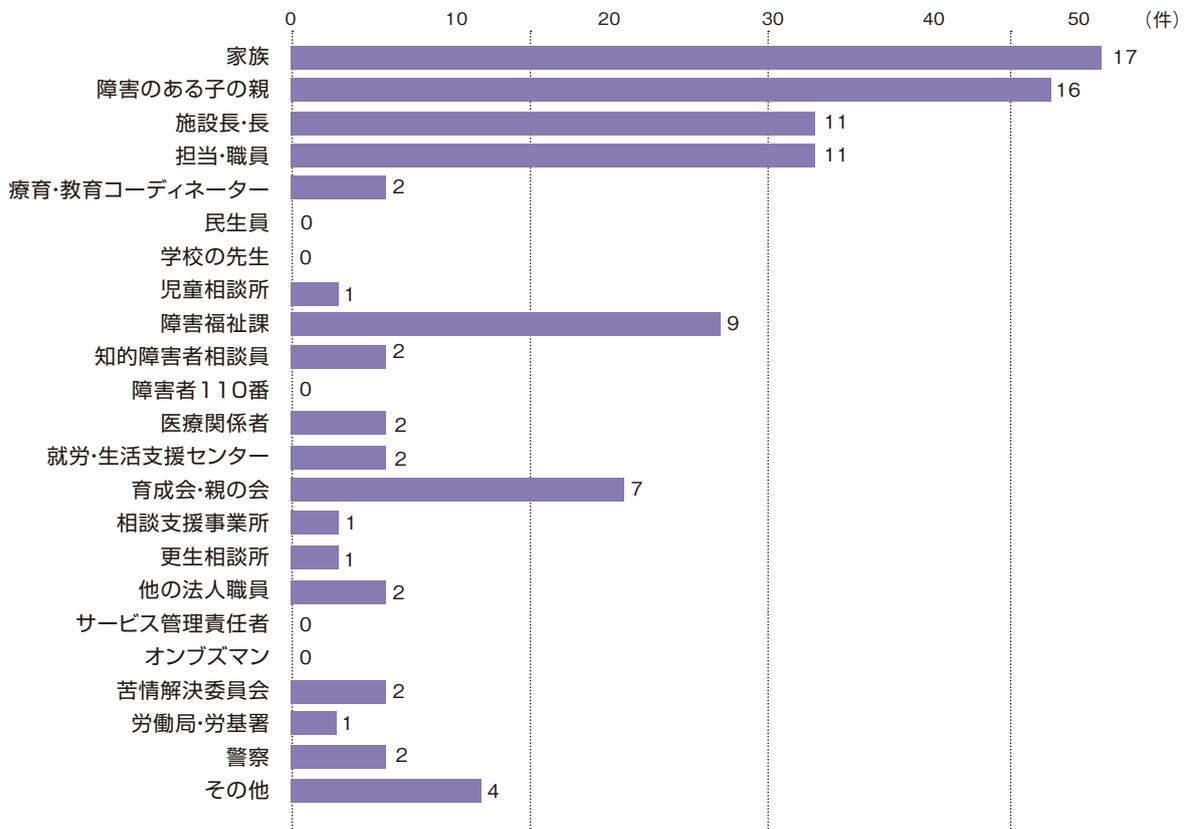
「本人の表情や体の様子、家族の様子が変だ」40.6%と、親族内で気付かれたケースが多い。「本人が訴えて相談してきたから」は16.4%となっている。その他、周囲(加害者、友達、教員・職員、他家族)からの報告で気付いたのは約2割程度となっている。

## Q7 その虐待や不適切な対応は解決しましたか？ それに対して納得していますか？



「解決していないがしょうがない」が40.4%と未解決のままである。「ほぼ解決したが納得できない」34.6%と、あわせて7割強の方が不満を残したままとなっている。

## Q8 誰が相談にのり、頼りになりましたか？

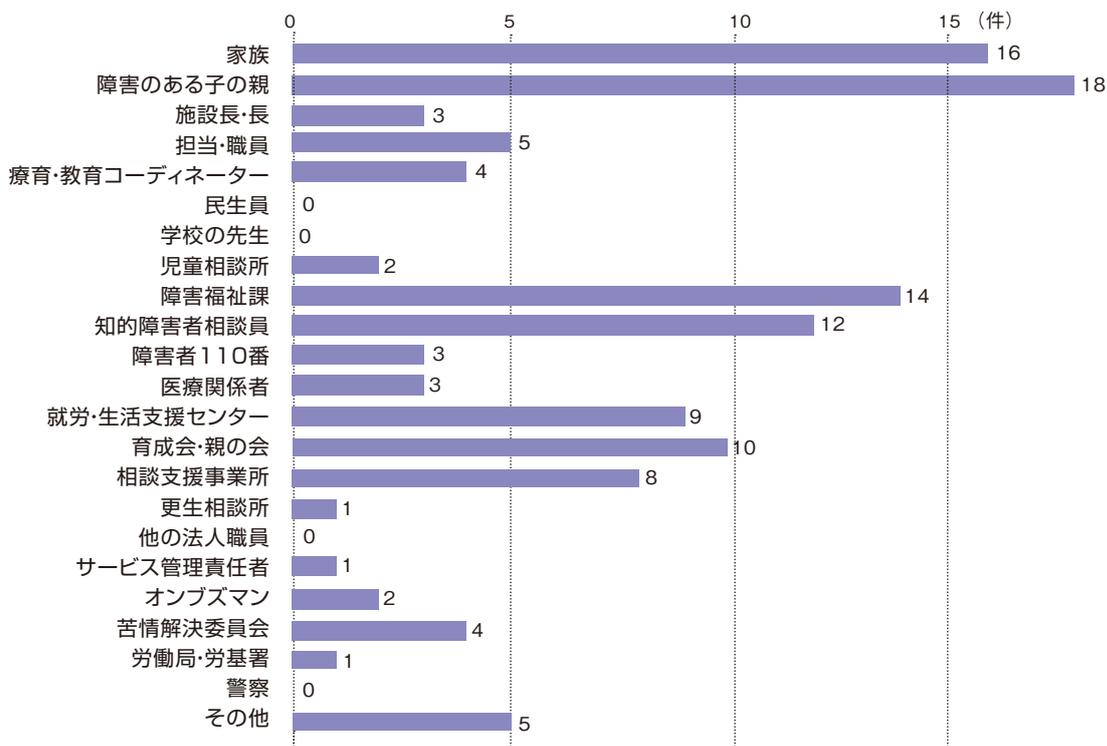


「家族」が17件と最も多く、次いで「障害のある子の親」16件と身近な人が頼りになったケースがほとんどである。

# 間接経験による虐待・不適切対応の実態

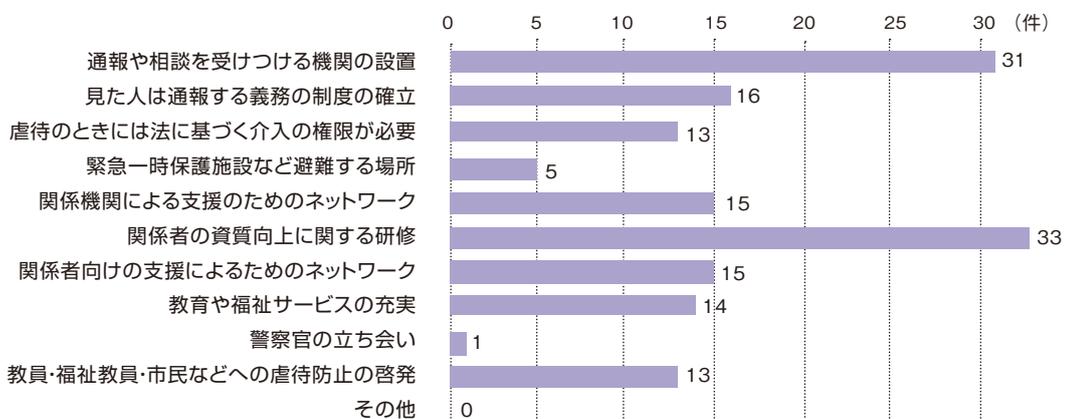
聞いたことがある話について

## Q9 今後、相談したい、頼りにしたいと思うのは誰ですか？



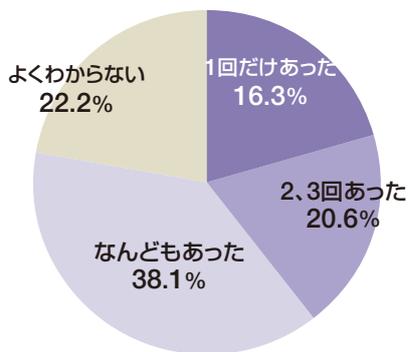
「障害のある子の親」18件、「家族」16件、となっており、次いで「障害福祉課」14件「知的障害者相談員」12件となっている。

## Q10 今後、どのような体制・制度が必要だと思いますか？



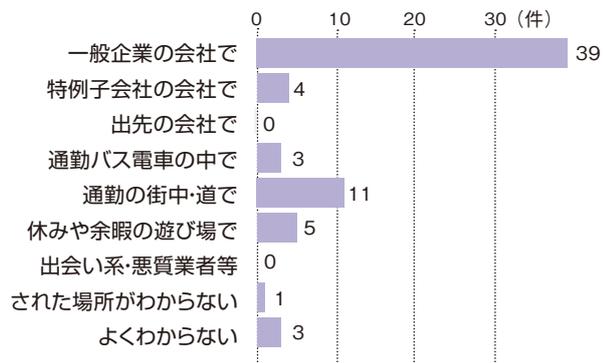
「関係者の資質向上に関する研修」33件、「通報や相談を受け付ける期間の設置」が31件となっている。

### Q1 それは1回だけですか？ 何度もありましたか？



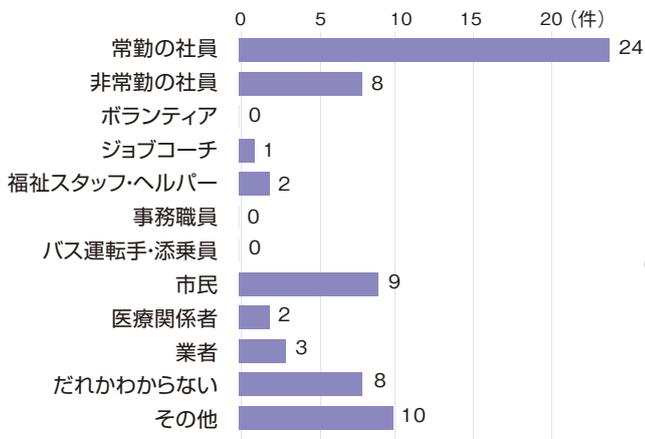
「何度もあった」38.1%、「2、3回あった」19.0%と、半数以上が複数回の虐待を経験している。

### Q2 場所はどこですか？



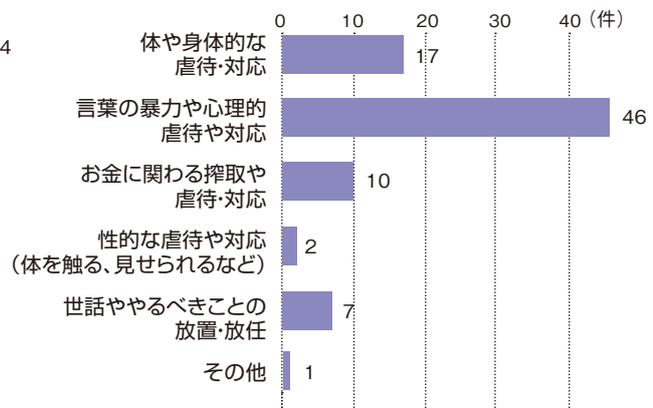
「一般企業の会社で」が39件とほとんど。

### Q3 誰にされましたか？



「常勤の社員」が24件とほとんどであった。

### Q4 どんなことをされましたか？

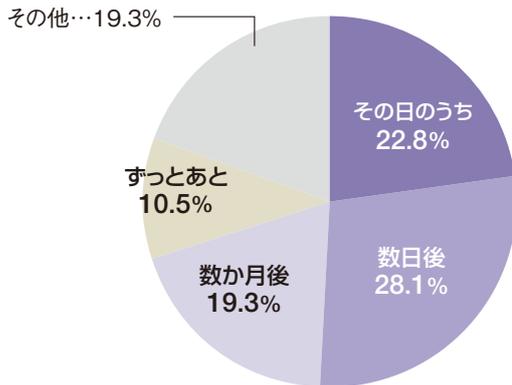


「言葉の暴力や心理的虐待・対応」が46件と最も多く、「体や身体的な虐待・対応」も17件となっている。

# 間接経験による虐待・不適切対応の実態

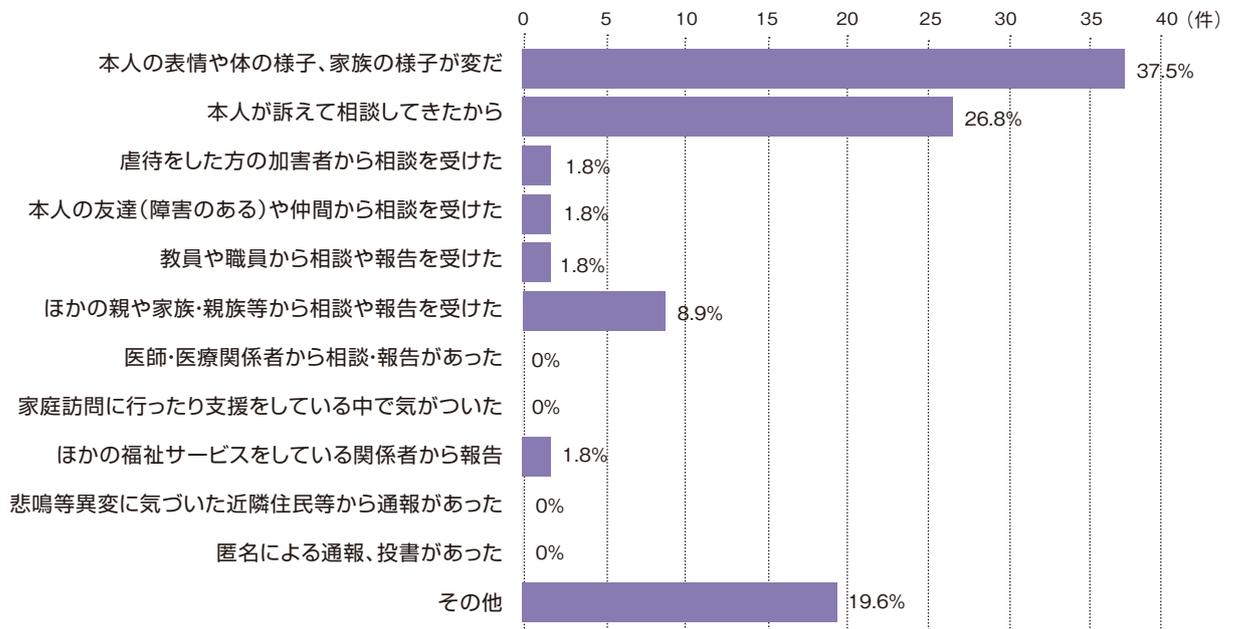
聞いたことがある話について

## Q5 いつ頃気がつきましたか？



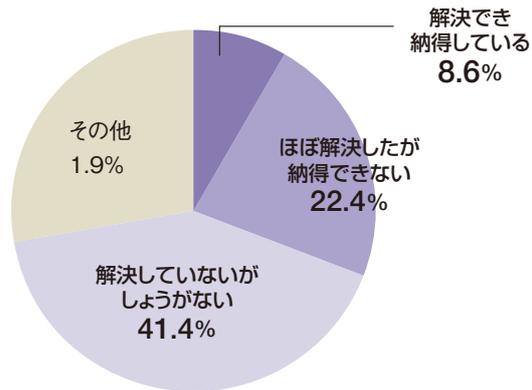
「数日後」28.1%、「その日のうち」22.8%と、合わせると約半数は早い段階で気付いている。しかし「数ヶ月後」「ずっとあと」も29.8%であり、後になってから気づくことも多い。

## Q6 それに気がついたのは、なにがきっかけでしたか。



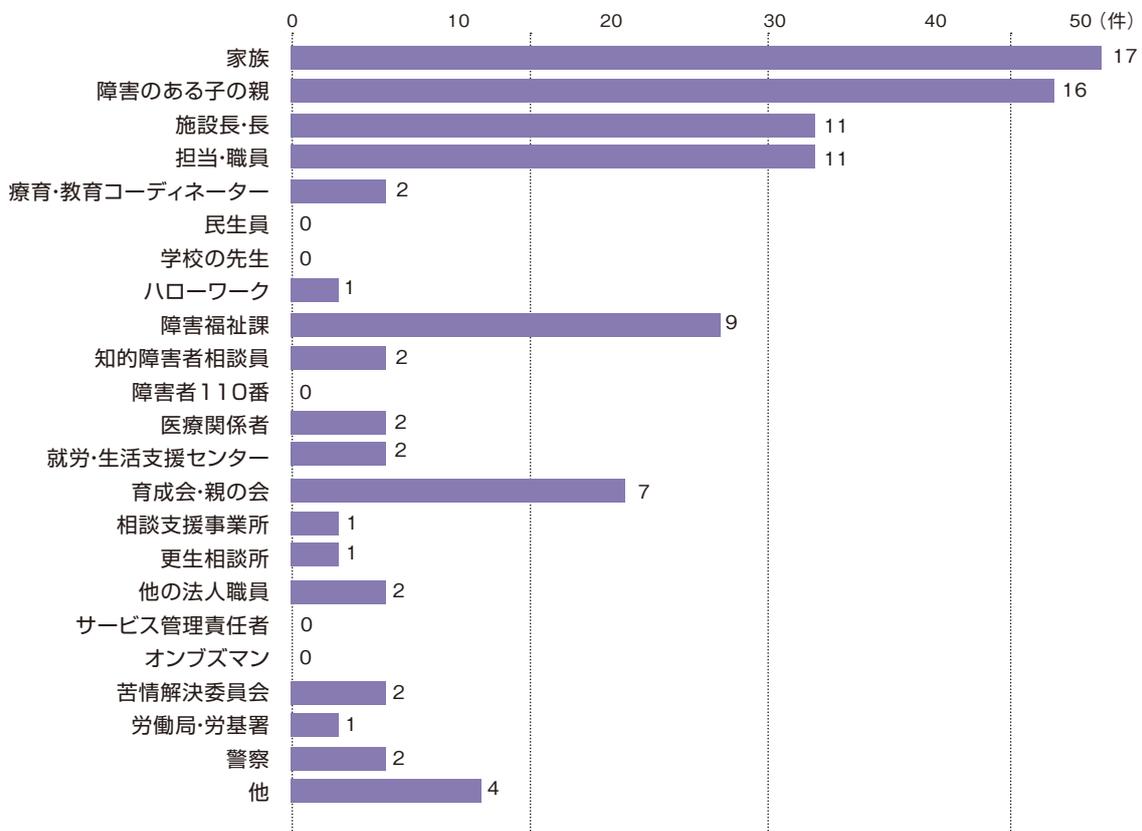
「本人の表情や体の様子、家族の様子が変わる」37.5%と、親族内で気付かれたケースが多い。「本人が訴えて相談してきたから」は26.8%となっており、学校・施設と比較して、自身から相談しているケースが多い。

## Q7 その虐待や不適切な対応は解決しましたか？ それに対して納得していますか？



解決していないがしょうがない」が41.4%と未解決のままである。「ほぼ解決したが納得できない」22.4%と、あわせて約6割の方が不満を残したままとなっている。

## Q8 誰が相談にのり、頼りになりましたか？

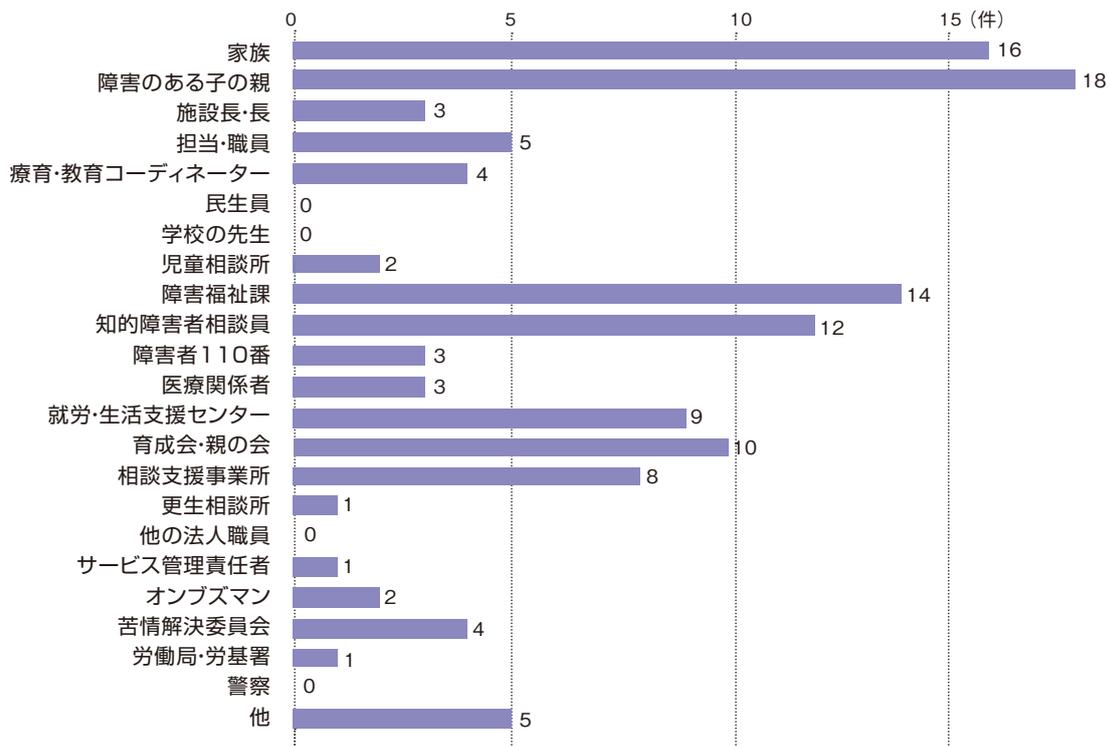


「家族」17件、次いで「障害のある子の親」16件となっている。

# 間接経験による虐待・不適切対応の実態

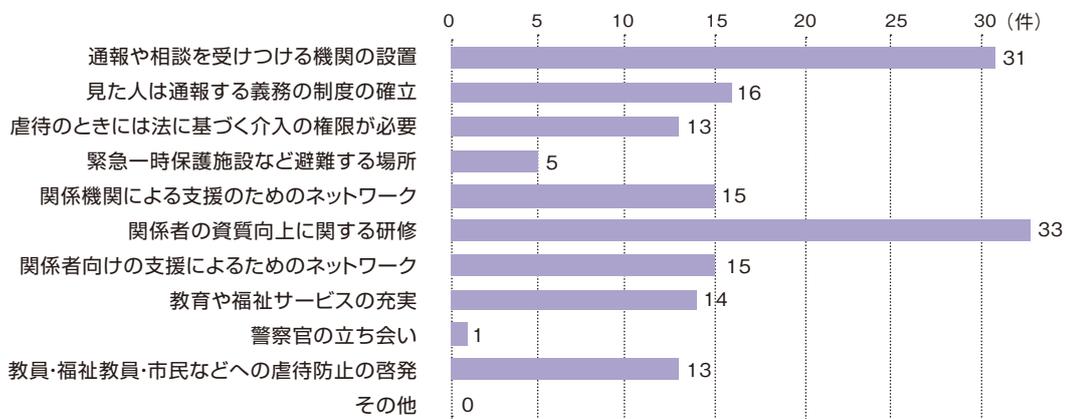
聞いたことがある話について

## Q9 今後、相談したい、頼りにしたいと思うのは誰ですか？



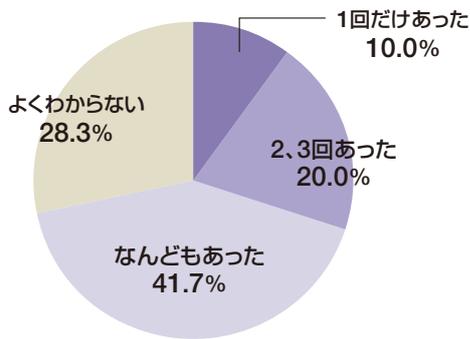
「障害のある子の親」18件、「家族」16件、となっており、次いで「障害福祉課」14件「知的障害者相談員」12件となっている。

## Q10 今後、どのような体制・制度が必要だと思えますか？



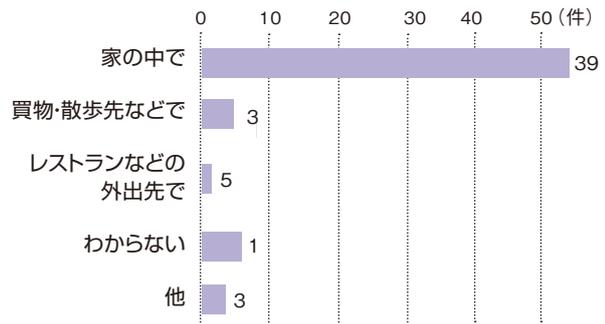
「関係者の資質向上に関する研修」33件、「通報や相談を受け付ける期間の設置」が31件となっている。

### Q1 それは1回だけですか？ 何度もありましたか？



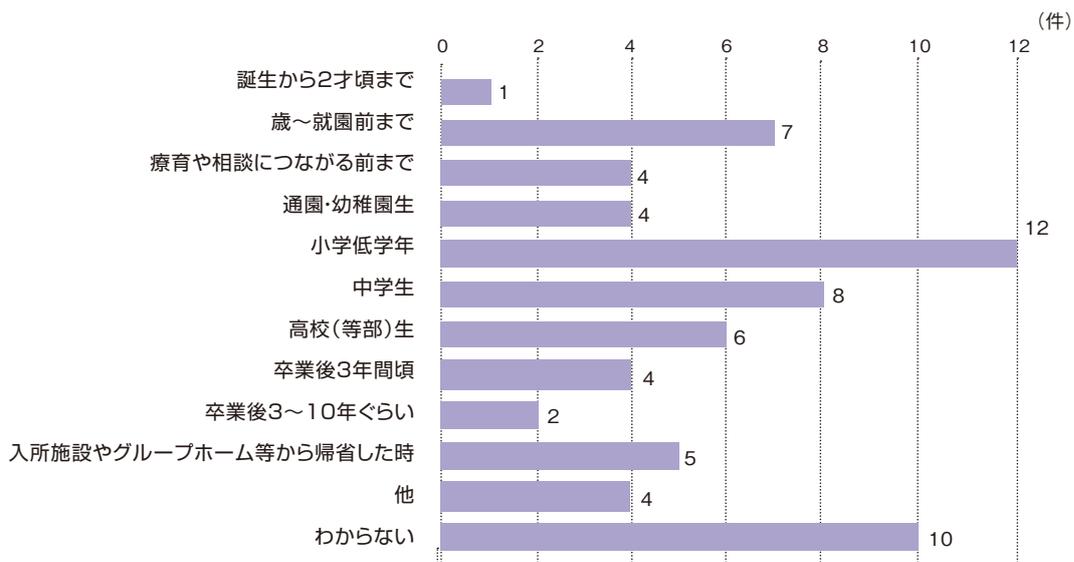
「何度もあった」38.1%、「2、3回あった」19.0%と、半数以上が複数回の虐待を経験している。

### Q2 場所はどこですか？



「家の中で」が54件と圧倒的に多い。

### Q3 いつ頃ですか？

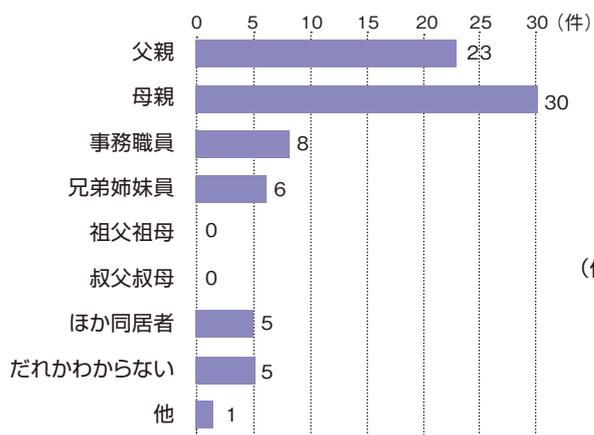


「小学校低学年」12件「わからない」10件となっている。

# 間接経験による虐待・不適切対応の実態

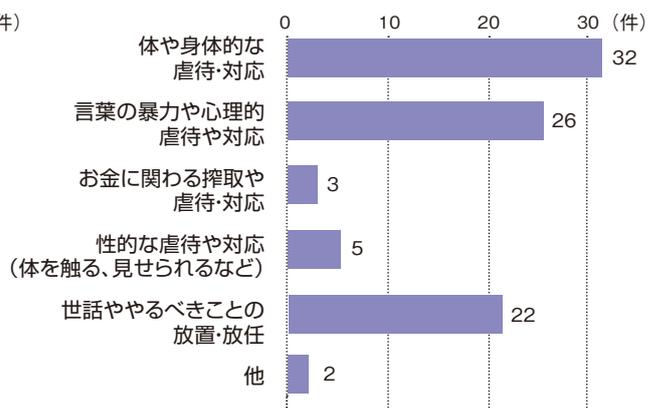
聞いたことがある話について

## Q4 誰にされましたか？



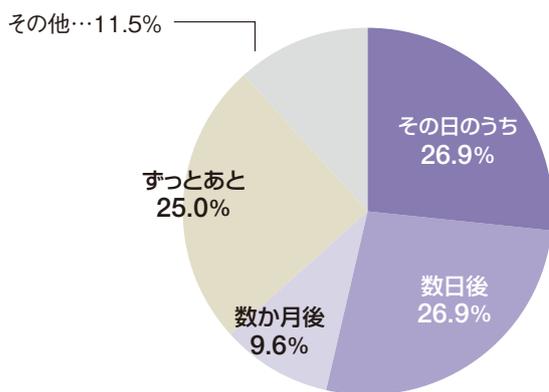
「母親」が30件と最も多く、次いで「父親」が23件となっている。

## Q5 どんなことをされましたか？



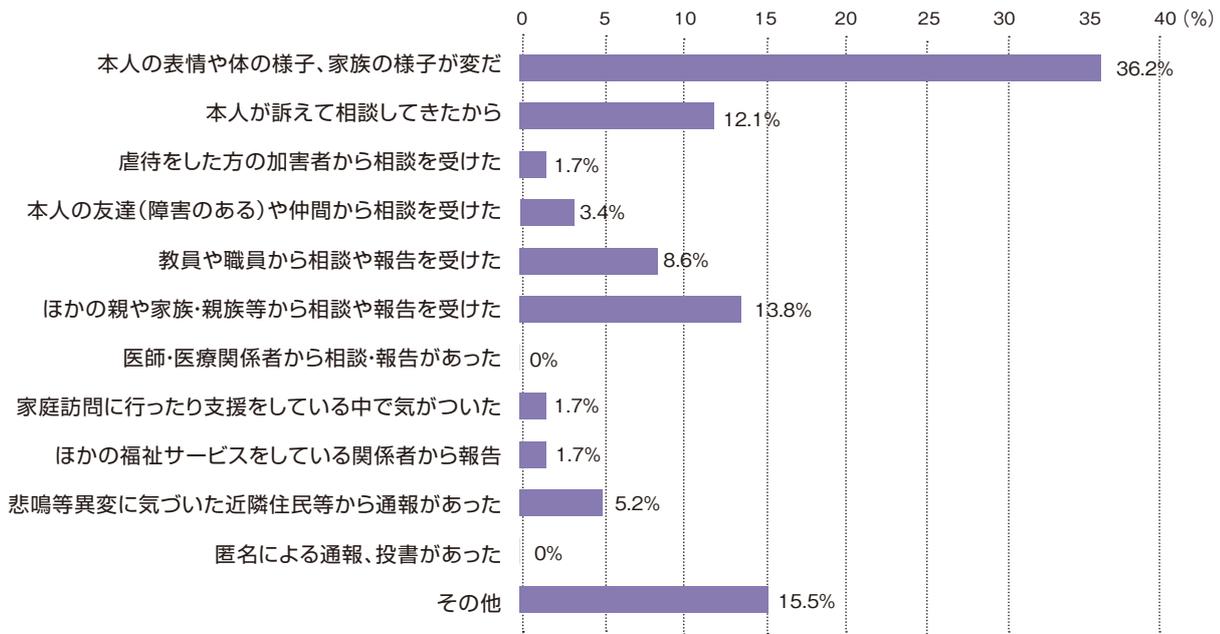
「体や身体的な虐待・対応」32件と最も多く、「言葉の暴力や心理的虐待・対応」が26件「世話ややるべきことの放置・放任」22件となっている。

## Q6 いつ頃気がつきましたか？



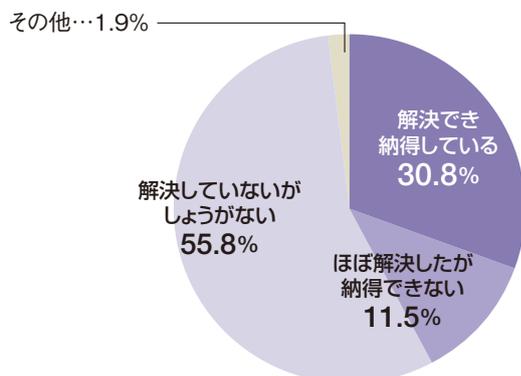
「その日のうち」「数日後」26.9%となっているが「ずっとあと」が25%と多い。

## Q7 それに気がついたのは、なにがきっかけでしたか。



「本人の表情や体の様子、家族の様子が変だ」36.2%と、親族内で気付かれたケースが多い。「本人が訴えて相談してきたから」は12.1%となっている。

## Q8 その虐待や不適切な対応は解決しましたか？ それに対して納得していますか？

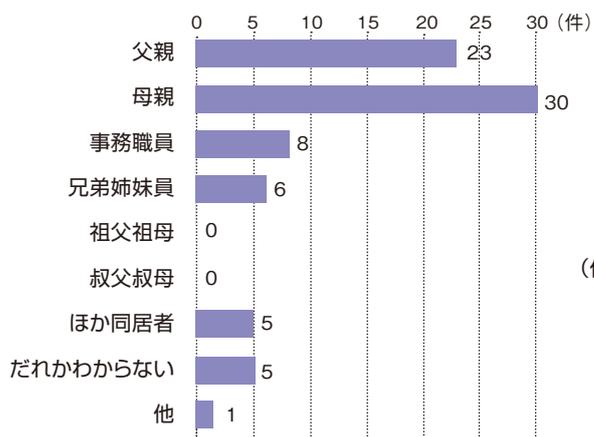


「解決していないがしょうがない」55.8%「解決でき納得している」30.8%となっている。

# 間接経験による虐待・不適切対応の実態

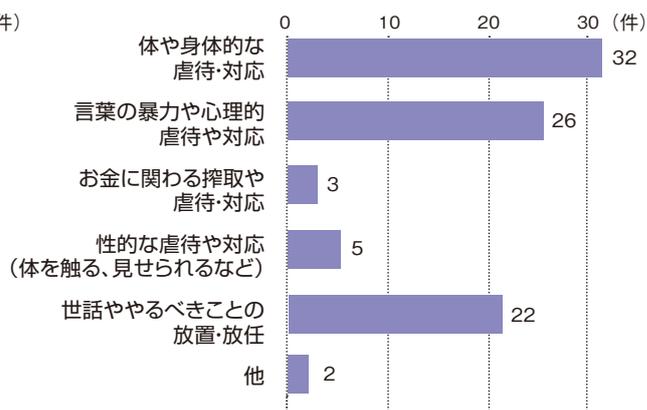
聞いたことがある話について

## Q4 誰にされましたか？



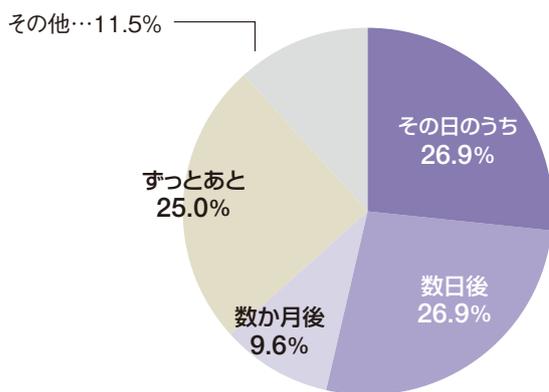
「母親」が30件と最も多く、次いで「父親」が23件となっている。

## Q5 どんなことをされましたか？



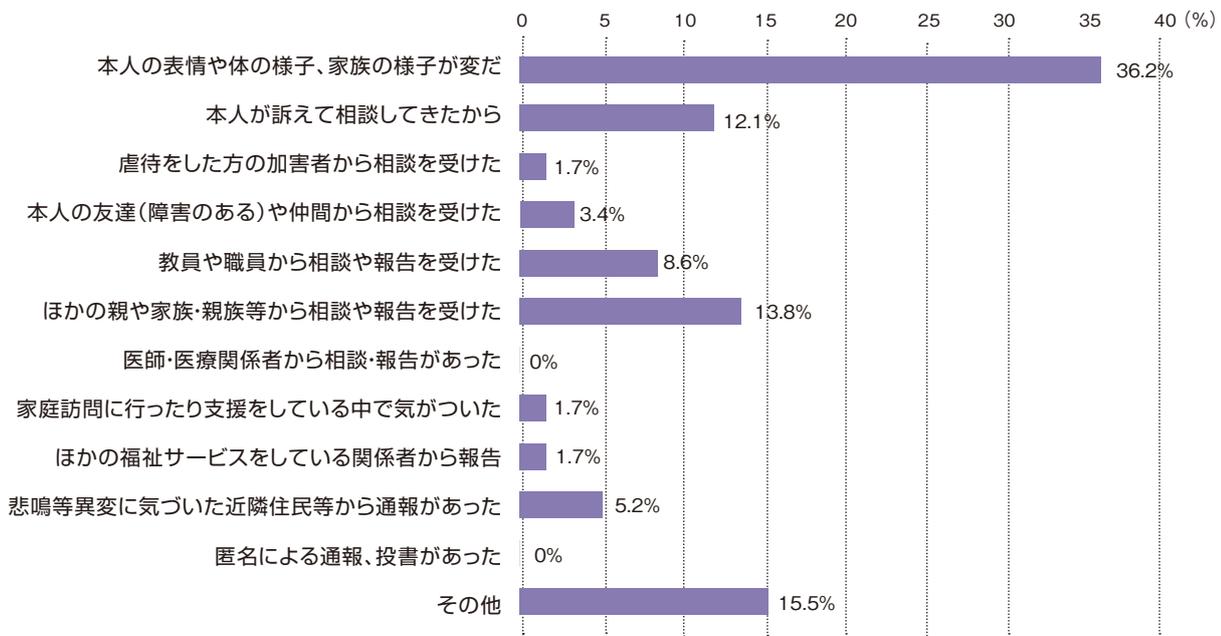
「体や身体的な虐待・対応」32件と最も多く、「言葉の暴力や心理的虐待・対応」が26件「世話ややるべきことの放置・放任」22件となっている。

## Q6 いつ頃気がつきましたか？



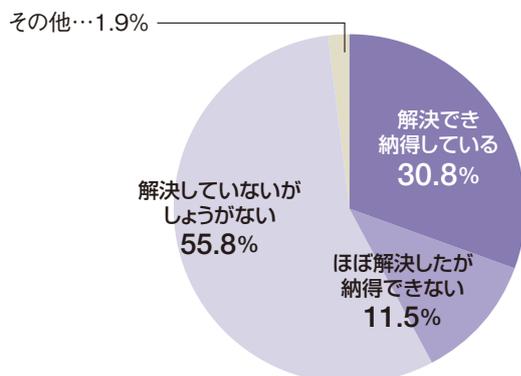
「その日のうち」「数日後」26.9%となっているが「ずっとあと」が25%と多い。

## Q7 それに気がついたのは、なにがきっかけでしたか。



「本人の表情や体の様子、家族の様子が変だ」36.2%と、親族内で気付かれたケースが多い。「本人が訴えて相談してきたから」は12.1%となっている。

## Q8 その虐待や不適切な対応は解決しましたか？ それに対して納得していますか？



「解決していないがしょうがない」55.8%「解決でき納得している」30.8%となっている。